

船橋市議会議員

立憲民主党



みつはし

三橋さぶろう

議会活動報告

令和5年度から始まる

日頃より皆様からご指導いただき、2015年に初当選させてもらってから、市議会議員として色々な課題や政策について取り組んでまいりました。もう間もなく任期を迎えます。あっという間の2期8年間でした。区切りを迎えますので、まだ道半ばで達成できていない目標もありますが、今回は来年度から始まる実現できた施策についてご報告いたします。

【AED（自動体外式除細動器）の屋外設置】

船橋市は突然倒れた方を救命するために市内の公共施設に350台、私立の保育園・幼稚園・こども園に145台、コンビニエンスストアに228台のAEDを設置しています。このAEDですが公共施設を中心に24時間365日いつでも使用できる状況ではありませんでした。そこで平成30年第一回定例議会で、学校に設置してあるAEDは教職員が不在時でも使用できるように屋外に設置することを提案してまいりました。来年度からは小学校55校、中学校26校、特別支援学校2校、高校1校、合計84校で屋外収納ボックスが設置され移設されます。

(裏面へ続く)

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(44歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 初当選
- 2019年 2期目当選
- 特技: クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルレクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 船橋市消防団20分団2班 所属
- 好きな言葉: 出来ることからコツコツとやる
- 家族: 妻と特別支援学級に通う息子(小学生)、娘(幼稚園)の4人家族
- 趣味: 子どもと散歩、晩酌、猫の動画

(表面から)

AEDがいつでも使用できるように環境整備されました。このほか、自主防災組織がAEDを設置した場合に、市が助成する制度を設けるよう取り組んでいます。

【公立保育園の使用済み紙おむつの無料処分】

過去に、公立保育園に預けられているお子さんが使用した紙おむつは、それぞれの保護者が持ち帰って処分していました。これは保護者の負担になるのはもちろん、間違いが無いようにきちんと振り分ける作業が保育士の負担でもあり不衛生でした。そこで平成30年第2回定例議会で使用済みの紙おむつは保育園で処分することを提案したところ、平成31年4月から月額300円徴収し、公立保育園で使用済み紙おむつの処分が始まりました。そしていよいよ来年度からは無料で処分される運びとなりました。

【救急車(隊)の増設】

近年、高齢化とコロナ禍等の影響で救急の出動要請が急増し、対応するのが厳しくなってきました。救える命をしっかりと守るために、救急車(隊)の増設は急務であると初当選以来、強く主張してきました。2017年には救急車を効率よく運用するため、転院搬送を専門に行う非常用救急隊が設置。2019年には常用救急車は15台に、2022年には16台と増加してきました。そして2024年にさらに1台増やすため来年度には救急車1台を購入するための費用約3,500万円が計上されました。来年度は救急車を運用する人員の整備も行われます。出動件数が非常に多いので、救急隊員の負担軽減策も必要です。電動ストレッチャーの導入やパワーアシストスーツの導入を提案しています。

実現できた施策は、多くの方々の理解とご支援があったからこそ達成できたと感じています。心から感謝申し上げます。まだ達成できていない施策もあります。引き続き4年間、市民の皆様役に立つ政策を実現できるよう努めてまいります。皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

船橋市議会議員 三橋さぶろう

〒274-0063 船橋市習志野台2-4-13 ネスト12 101

電話: 047-402-2810 FAX: 050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。